



輝け！北っ子！

授業参観スタート

～子どもたちのがんばりをご覧ください～

10日～12日の3日間、授業参観を実施しています。多くの保護者の皆さんに参観いただきありがとうございます。今回の授業参観は、新型コロナウイルス感染症とのかかわりで、「今年度初」となりました。1学期には「申し込みによる希望者の授業参観」10月末には「北っ子まつり」と学校公開を少しずつはじめてはきましたが、保護者の皆さんに子どもたちの学習の様子を見ていただける機会が提供できるのは本当にうれしいことです。子どもたちのがんばりも普段とは随分と違います。保護者の皆さんに「見てほしい」「褒めてほしい」という子どもの願いの表れなのだと思います。ぜひ、参観の感想など子どもたちに伝えてあげてください。子どもたちにとってこれからの活力の源になっていくことは間違いありません。



また、今回の授業参観は方部別の参観時間設定、持久走記録会の同時開催、6年生は「鼓笛発表」も合わせて行うなど通常とは違う形、しかもなかなか盛りだくさんの内容になっています。これは、できるだけ例年と同じような活動を

を、できるだけ無理のない形で、しかも感染症対策はしっかりとした上で・・・という思いからの企画でした。北っ子まつりからあまり期間もなく、お仕事の都合などなかなか難しいこともあったかと存じますが、ご理解いただければ幸いです。



ちょっといい話 朝のあいさつ運動 ～はじめる勇気 続ける大変さ～

朝の校門前でのあいさつ運動は6年生が毎日しっかりと行ってくれています。北小の朝の活動として定着してきているようにも感じています。学校全体であいさつに取り組んでいることもあり、子どもたちのあいさつは随分と上手になったように感じています。

この取り組みの主体である6年生は1組と2組が1ヶ月交代で朝のあいさつ運動とボランティア清掃を行ってくれています。当たり前のように続けてくれている6年生には感謝しかありません。続けることの大変さは計り知れませんが、続けることで成果はより大きなものになっています。

また、朝のあいさつ運動の「助っ人」も活躍してくれています。特に3年生は楽しみながら活動してくれています。校門の両側に分かれてあいさつし、さらには行き交う車の運転手さんにも元気にあいさつしています。「運転手さんが手を振ってくれた～」子どもたちは地域の方の反応もうれしいようです。



あいさつ運動は6年生がはじめた活動で、他学年の子どもたちが「助っ人」として参加するにはかなりの勇気がいったことと思っています。まずはやってみることを大事にしてほしいと私は思っていますし、やってみることに価値があると思っています。一方、活動を継続することに関しては大きく望んではいませんでした。かなり、ハードルの高いことだと思っていましたので。しかし、子どもたちは私の予想を簡単に裏切って、活動が継続しています。しかも、「楽しさ」までみつけながら……。子どもの意欲、やる気のスイッチが入ったときのエネルギーは素晴らしいなあと感心しています。